

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	心不全に対するスクリーニングシート導入とスクリーニング結果からみた緩和ケアの必要性について（倫理委員会承認番号：450）
当院の研究責任者 （所属）	看護局 看護管理室 緩和ケア認定看護師 安室 千鶴
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>心不全とは「なんからの心機能障害、すなわち、心臓に器質的および/あるいは機能的異常が生じて心ポンプ希望の代償転機が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動耐容能が低下する臨床症候群」と定義されている。平成29年度の死因第2位は心疾患（高血圧性を除く）で全死亡数の15.2%であり増加傾向が続いている。平成27年1年間に心不全でんかうなった人は71,860人で心疾患の死亡数の36.6%を占める。高齢化が進むなか、2025年には日本人の100人に1人が心不全患者になると予測されており、心不全の緩和ケアは今後必要性が増すものと考えられる。</p> <p>心不全の緩和ケアは治療と並行して行われる事が望まれるが、一般的に介入のタイミングが難しいと言われている。心不全患者の入院時スクリーニングの現状を明らかにし、適切な時期に緩和ケアが提供できるよう検討を行う</p>
調査データの 該当期間	2019年4月1日～4月30日
研究の方法 （対象となる方）	心不全の加療のため入院される患者

研究の方法 (使用する情報)	入院時に記入する「気がかり相談シート」のチェック項目と、どのように対応したかについての情報
資料・情報の他機関 への提供	本分析結果は、データ化し学会等で発表する
個人情報の取扱い	研究責任者等は、本研究を実施するに当たり、研究対象者の個人情報保護のために、研究対象者の氏名や年齢などは収集しない。調査は匿名で扱いデータ化し、個人が特定できないよう配慮し、研究目的以外にしようしない。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	君津中央病院 看護局 看護認定室 緩和ケア認定看護師 安室 千鶴 TEL : 0438-36-1071 (内線 6809) FAX : 0438-36-8457
備考	